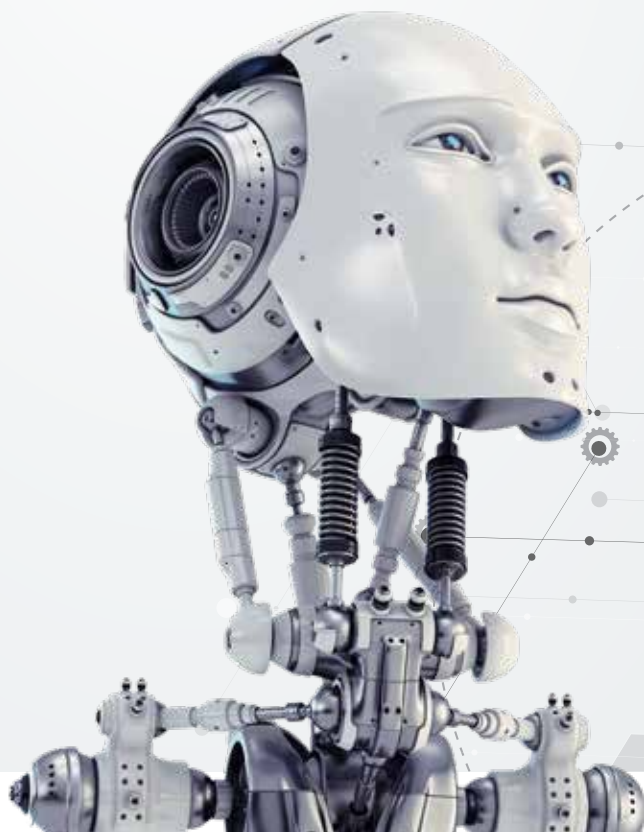




国際非営利団体

日本トランスヒューマニスト協会

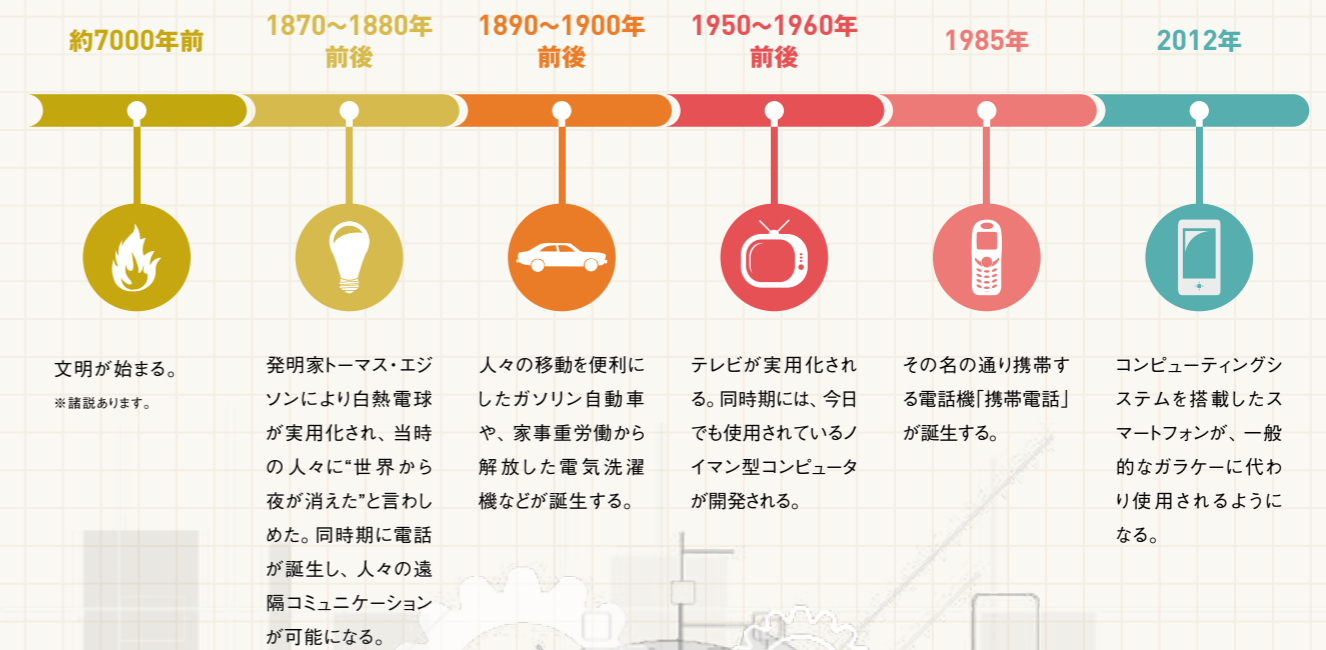
Japan Transhumanist Association



近代～現代～未来におけるテクノロジーの発展

文明の起こりから約7000年。現在私たちの身のまわりに存在するものは、そのほとんどが近代以降に発明されている。これまでテクノロジーは、圧倒的なスピードで成長し続けることで“新しい便利なもの”が誕生するスパンをとつもなく早めてきた。そして、この事実は未来においても全く同じことが言えるだろう。

私たちはついに、第四次産業革命を迎えようとしている。AIやロボットによる「自律化」により、世界はこれまでと比べ物にならないほど大きく変わることが予測される。AI技術の発展でコンピューター自らが学習し、一定の判断を行うことが可能となる。例えば、農業は自動化され、食糧の安定供給が可能になるだろう。自動運転技術によって公共の交通機関が無人で提供される未来も近いはずだ。あらゆる分野において、AIを搭載したロボットが人間に代替されることで、我々人間は労働から完全に解放されるかもしれない。



Contents

- トランスヒューマニズムへの道 03
- トランスヒューマニズムとは？／トランスヒューマニスト宣言 04
- 主なトランスヒューマニスト／主な映画、漫画・アニメ、書籍 06
- トランスヒューマニズムの現在：国内での主な活動 08
- 日本トランスヒューマニスト協会とは？／
Humanity+（前・世界トランスヒューマニスト協会） 09
- これからのトランスヒューマニズム：今後の展望 10
- ロードマップ／関連キーワード 11

トランスヒューマニズムとは？

What's Transhumanism ?

トランスヒューマニズムとは？

ここ数十年間でゆるやかに定義されてきた新しい思想および運動の潮流。世界中に数百万人の支持者が存在するとされ、日本語では「超人間主義」とも訳される。

トランスヒューマニズムでは新しい科学技術、例えばNBICと呼ばれるナノテクノロジー、バイオテクノロジー、情報技術、認知科学、仮想現実、人工知能、精神転送、人体冷凍保存などを支持している。

トランスヒューマニストは、“人間は人間以上の存在になるためにこれらの科学技術を使用すべきであり、使用できる”と考えている。実際に薬品や遺伝子操作による寿命の延長・肉体の強化、脳とコンピュータの接続などの研究を行っている。

トランスヒューマニズムの古くはルネサンスにも見られるが、着想自体は1923年のJ・B・S・ホールデンによる『ダイダロス、あるいは科学と未来』（英: Daedalus or Science and the Future）が先駆けとされている。

トランスヒューマニスト宣言*

- ◎ 老化、病気、怪我などの不随意の苦しみを克服することを努力します。
- ◎ あらゆることへの盲信的な信仰をやめ、中立的な立場を心がけながら、純粋な知の探求を行い、真理を目指します。
- ◎ 自らの向上と成長を約束し、社会の変化に対応することで種としての進化を目指します。
- ◎ 強制と抑圧は、絶望、怒り、復讐、革命につながることを理解し、人々の自発性を尊重します。

*本トランスヒューマニスト宣言は、日本トランスヒューマニスト協会による声明です。

主なトランスヒューマニスト



J・B・S・ホールデン

ジョン・バードン・サンダースン・ホールデン(John Burdon Sanderson Haldane、1892年11月5日-1964年12月1日)はイギリスの生物学者である。生物に関する理論的研究を得意とし、生命の起源に関する科学的理論の最初の提唱者と知られており、ロナルド・フィッシャー、シュール・ライトと並ぶ集団遺伝学の開拓者であり、酵素反応速度論などにも業績を残した。



ハンス・モラベック

ハンス・モラベック(Hans Moravec、1948年11月30日-)は、ロボット研究者。スタンフォード大学Ph.D。カーネギーメロン大学ロボティクス研究所教授。ロボット工学や人工知能研究で知られ、テクノロジー関連のライターでもある。また、未来学者でもあり、トランスヒューマニズムの信奉者でもある。オーストリア生まれでカナダで育つ。



K・エリック・ドレクスラー

キム・エリック・ドレクスラー(Kim Eric Drexler、1955年4月25日-)は、アメリカ合衆国の工学者であり、1970年代から1980年代にかけて分子ナノテクノロジーの可能性を知らしめたことでよく知られている。



ニック・ポストロム

世界トランスヒューマニスト協会創設者
ニック・ポストロム(Nick Bostrom、1973年3月10日-)はスウェーデン人の哲学者であり、オックスフォード大学教授。人間原理に関する業績で知られる。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで2000年に博士号を取得。学会誌や一般誌に論文や記事を書く傍ら、さまざまなメディアにも登場し、トランスヒューマニズム関連の話をしている。



フランク・ティプラー

フランク・ジェニングス・ティプラー三世(Frank Jennings Tipler III、1947年2月1日-)は、数理物理学者であり、ニューオーリンズにあるチューレーン大学で数学科と物理学科の教授を務めている。



ロバート・エッチンガー

ロバート・チェスター・ウィルソン・エッチンガー(Robert Chester Wilson Ettinger、1918年12月4日-2011年7月23日)は、1962年の著書『不死への展望』によって「人体冷凍保存の父」として知られる人物。また、1972年の著書『超人間 肉体と精神を改造する科学』はトランスヒューマニズムの基礎を築いたとも言われている。エッチンガーとも。



レイ・カーツワイル

フューチャリスト、技術的特異点論者
レイ・カーツワイル(Ray Kurzweil、1948年2月12日-)はアメリカ合衆国の発明家、実業家、未来学者。本名はレイモンド・カーツワイル(Raymond Kurzweil)。人工知能研究の世界的権威であり、特に技術的特異点(technological singularity)に関する著述で知られる。



ベン・ゲーツェル

ベン・ゲーツェル(Ben Goertzel、1966年12月8日)は、ブロックチェーンを活用したAIプラットフォームであるSingularityNETのファウンダー兼CEOであり、Aidyia HoldingsとHanson Roboticsのチーフ・サイエンティストでもある。
AIソフトウェア企業Novamente LLC会長。Artificial General Intelligence Society会長。Humanity+の副会長など肩書き多数。



主な映画、漫画・アニメ、書籍

《映画》

アバター、JM、マトリックス、エクスマキナ、AI、アイロボット、オプリビオン、リベリオン、リミットレス、ルーシー、ターミネーター、アリータ、トランセンデンス、ロボコップ、ブレードランナー、オールユーニードイズキル、トゥモローランド、マイノリティリポート、トータルリコール、チャッピー、オートマタ、2001年宇宙の旅、パッセンジャー、プロメテウス、トランスフォーマー etc...

《漫画・アニメ》

ソードアートオンライン、アクセルワールド、サイコパス、攻殻機動隊、電脳コイル、シュタインズゲート、イブの時間、銀河鉄道999、鉄腕アトム、鋼の錬金術師、AIの遺伝子、いぬやしき、サイボーグ009、プラスチックメモリーズ、ドクターズランプ、ドラえもん、ウォーリー、ベイマックス etc...

《書籍》

ホモデウス、トランスヒューマニズム: 人間強化の欲望から不死の夢まで、スピリチュアル・マシーン コンピューターに魂が宿るとき、ポスト・ヒューマン誕生 コンピューターが人類の知性を超えるとき、ダイダロス、あるいは科学と未来 etc...

国内での主な活動



寄付、クラウドファンディング

テクノロジーによって救済が可能な人々を積極的に支援。不随意の苦しみを受ける人々を助けるとともに、テクノロジーの有用性を世に訴えることを目的とし、活動を行っている。



説明会や勉強会の開催

トランスヒューマニズムの思想啓蒙などを目的に、定期的に全国各地で協会における広報担当が説明会を開催。また、さまざまな分野に向けてテクノロジー全般に関する勉強会などを行っている。来たる未来のテクノロジー社会に向け、今我々はどのように対応していくべきなのか。日常面からビジネス面にまで対応。



企業支援

トランスヒューマニストの経営する次世代のテクノロジー企業に対する積極的な支援活動を行っている。本協会では、協会全体の発展のため、経営に関するアドバイスから財務面での相談、各種コミュニティを用いた広報などで幅広く支援している。



コミュニティの運営

オンラインでの啓蒙活動のため、Twitter、Facebook、TelegramといったSNSを活用している。日々、テクノロジーに関する投稿を行うことで、テクノロジーに興味を持ったフォロワーを集めている。



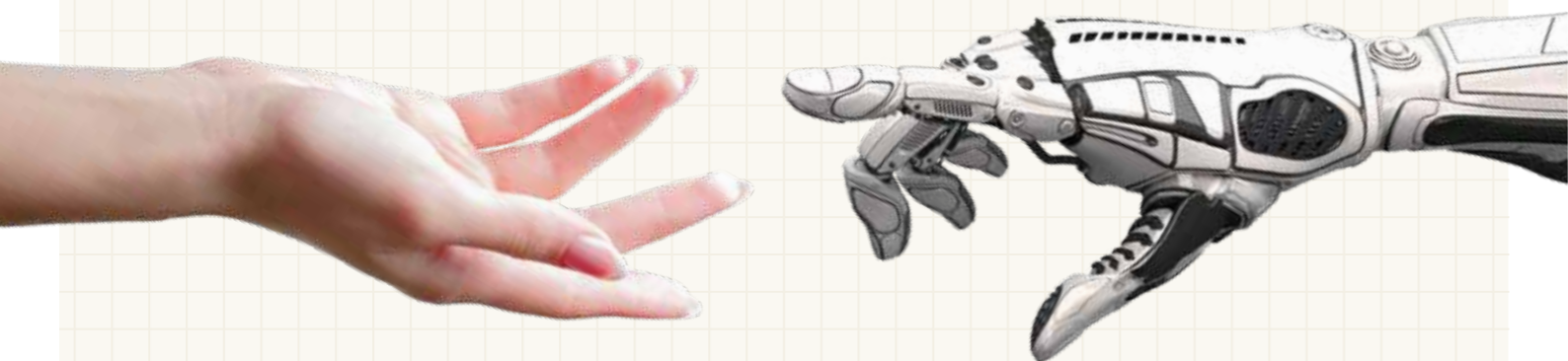
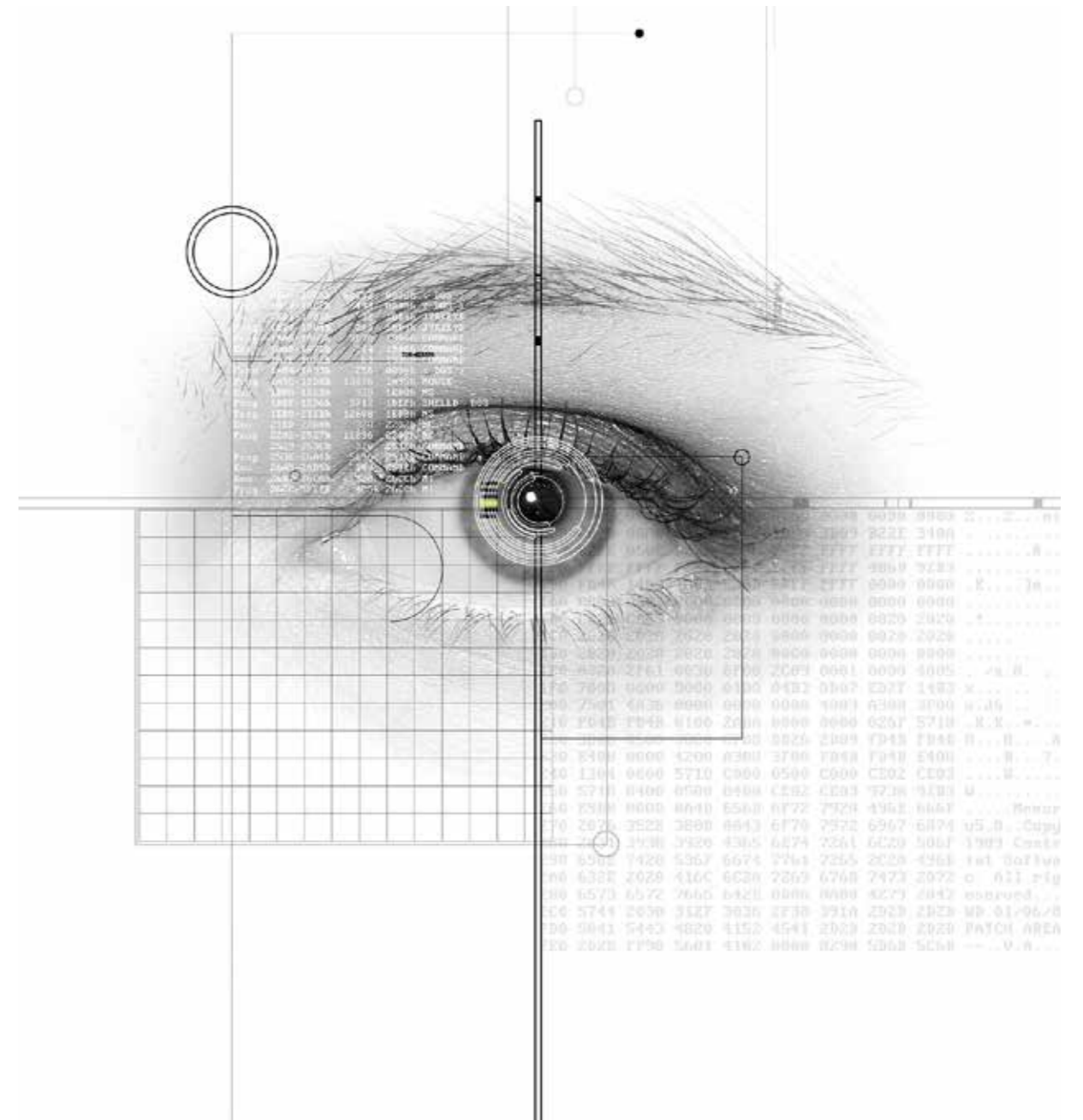
マイクロチップ埋め込み環境整備

国内においてマイクロチップの人体への埋め込みは「医療行為」にあたるため、サービスとして埋め込みを行うためには医療認可が必要である。現在は、一般社団法人臨床研究安全評価機構とともに「マイクロチップの人体への埋め込みに関する臨床研究(観察研究)」を正式に行うなど、環境整備に努めている。



マイクロチップ関連アプリケーション開発

マイクロチップを用いた各種アプリケーションの開発を行っている。現在は、決済、各種スマートロックの施錠と解除、ポイントカードや診察券など各種情報の管理などを一括でできるようなアプリケーションの開発を進めている。



日本トランスヒューマニスト協会とは？

Humanity+により正式に認められた日本における非営利組織。2018年7月に一般社団法人として登記。現在はトランスヒューマニズムの思想を広める活動とともに、最先端テクノロジーを用いた企業の支援や、テクノロジーを用いることで解決可能な不随意の苦しみに悩む人々を助けるための活動などを行っている。

Humanity+ (前・世界トランスヒューマニスト協会)

1998年にDavid PearceとNick Bostromによって設立された国際非営利団体。人間の能力を高め、拡張することをめざし活動している。カリフォルニア州・ロサンゼルスを拠点としており、ニューズレターや雑誌の刊行、イベントの開催などトランスヒューマニズムに関連することを全般的に行っている。

これからのトランスヒューマニズム

今後の展望

協会員1万人

協会員1万人をめざし、積極的に活動を行っていく。

トランスヒューマニズムクリニック

老化、病気、怪我などの不随意の苦しみを克服するため、世界の最先端医療を受けることができるクリニックをオープンする。医療分野だけでなく、情報工学やロボット工学などを積極的に取り入れる。

環境整備のための政治活動

圧倒的なスピードで進みゆくテクノロジーに世の中が置いて行かれないよう、政治的な側面からもアプローチを行うことで、高度なテクノロジー社会の構築に貢献する。

トランスヒューマニスト用フリースペース、カフェ

トランスヒューマニストが集うことができるフリースペースやカフェをオープンし、トランスヒューマニスト同士の交流を増やし、協会内で生まれる知的活動を積極的に応援していく。

スマートシティ計画

より便利で幸福な生活を行うためのスマートシティをつくる。あらゆる労働はロボットが代替することで、人間は娯楽の追求を行う。衣食住や不随意の苦しみに関する恐怖を取り払うことで、全体の幸福度を高めていく。

没入型仮想現実の開発

コンピュータの内部に理想の仮想現実をつくることで、より面白い体験を行うことができるようにする。

キャッシュレス社会の実現

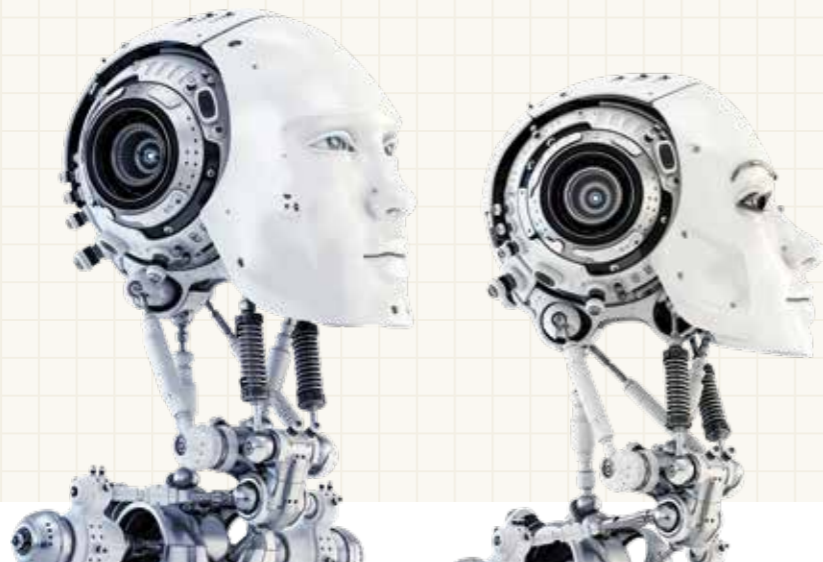
2020年東京オリンピック・パラリンピックや2025年大阪万博に向け、日本が世界よりも一歩進んだテクノロジー国家として誇れるよう、積極的にキャッシュレス化の推進を行っていく。

人体の冷凍保存

現在の医療技術で治療が不可能な人体を、死後に冷凍保存を行い、未来の医療技術の発展によって蘇生する技術が完成した時点で解凍、治療を行うというクライオニクスを推進し、問題なく行えるような施設をつくる。

不老不死の実現

癌をはじめとしたあらゆる病気の完治を可能にするといった医療研究から、テロメア研究をはじめとした不老長寿に関する研究を協会全体で支援していくことで、不老不死を実現させる。



ロードマップ



関連キーワード

トランスヒューマニズム、技術的特異点、人工知能、ディープラーニング、人間強化、不老不死、クローン、ゲノム編集、不老不死、サイボーグ、生命倫理学、テロメア、AR、VR、MR、IoT、ブロックチェーン、バイオニックリム、スマートレンズ、パワードスーツ、ロボティクス、臨床工学、生体工学、自動農業、マイクロチップ、iPS細胞、第四次産業革命、自律化、電脳、義体化、シミュレーション仮説、クライオニクス、ベーシックインカム、万物の理論





国際非営利団体

日本トランスヒューマニスト協会

Japan Transhumanist Association

東京都文京区本郷3-43-13 南江堂第二ビル3階

TEL (直通) 03-5579-6851

URL <http://transhumanist.jp>

MAIL info@transhumanist.jp

お気軽にお問い合わせください。



Facebook ID: @humanityplusjp



Twitter ID: @transhumanistjp



Instagram ID: transhumanistjp